



様式第4号

平成 29年度 政務活動決算効果報告書

平成 30年 4月 26日

府中市議会議長 様

事業所の所在地 府中市府川町315番地

会派名 創生会

代表者名 瀬川恭志

次のとおり政務活動による事業実績及び収入支出決算を報告します。

(1) 事業実績

- 1 事業名 政務活動
- 2 事業額 2,118,799 円

3 政務活動の内容、効果等

1) データヘルス計画に関する研修会

呉市におけるデータ分析を参考に分析作業の重要性について学ぶことが出来た。今後府中市において、分析を行う際の注意点など大変参考になった。また、高齢者の入院原因1位に挙げられる大腿骨骨折については腰にサポーターを装着することで予防が可能であることや予防医療に取り組む際には今以上の人材が必要となる等の問題点についても認識することが出来た。

2) 広島県東部事務所

府中市に関係する土木・農林事業について、具体的な説明を受けた。南北道路の進捗、国道486号線の見通しの説明に続き、質疑においては各地域の事業の内容について勉強できた。また、農林に対して事業支援も積極的に行われていることを理解した。  
また、耕作放棄地・鳥獣対策の方向性についても教えていただいた。



3) 広島県庁

府中市の取り組みを例に持続可能な公共交通の維持について、県の方向性を聞くことが出来た。庁舎等の長寿命化に関するマネジメントについて確認することが出来た。広島県で取り組みを進めている広島版ネウボラの方向性について伺い、府中市でも行っている子育て支援事業への参考になった。

4) 岩手県滝沢市

、盛岡市のベッドタウンとしての印象が強い、実際に民間の交通機関はそのほとんどが盛岡市を起点としている。また交通空白地域も多く点在している現状に「地域交通懇談会」を開催し、庁内に「公共交通部会」を立ち上げられ、課題解決にむけて取り組みを行われている。実際には福祉バスの運行やマップの作成に繋がっている。

5) 岩手県盛岡市 オガール紫波株式会社

PPP方式の公民連携により開発が進められているこの施設は、ホテル、体育館、図書館、カフェ、産直マルシェ等が入居しており、年間90万人を集客している。計画からオープン及び現在に至るまでの経緯について伺い、今後府中市でも議論されるであろう公民連携に関して学ぶことが出来た。

6) 千葉県佐倉市

FM（ファシリティマネジメント）の取り組みについて学んだ。

いち早く、公共施設の維持に向けた将来の課題解決に取り組まれており、データ分析、シミュレーションの方法等について確認することが出来た。どうすれば効率的に進むか庁内が連携して取り組まれていることが印象的であった。

7) 衆議院第一議員会館

厚生労働省老健局 三浦課長に介護保険制度改革について教えていただいた。国の制度が改正されていく動きは早く、府中市においても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように、在宅医療・介護に向けた速やかな取り組みが必要である。

さらに研究を進める必要があると感じた。

8) 全国市議会議長会 研究フォーラムin姫路

議会改革、連携中枢都市圏構想、地方議会の今後、防災への関わり等に関する基調講演の後、議会基本条例と議会改革に関するパネルディスカッションが行われた。

府中市議会においても道半ばである議会活性化について大変参考になった。

9) 岡山県赤磐市

、府中市の規模に近い、ごみ処理場「エコプラザあかいわ」の視察を行いました。ストーカ方式を採用されており、問題点等についても教えていただくことが出来た。また、発電された熱を利用しての足湯やごみ処理について学ぶことが出来るスペースが整備され、住民の方も見学をされている。身近な存在になることで、市民のごみに対する考え方も変わってくるのかもしれない。環境センター整備は大型事業ではあるが、子供たちが学ぶ環境づくりは必要と感じた。

10) 創生会通信を定例会毎に発行することができた。今後も内容を精査しながら発行を続けて行きたい。

4 その他

一年を通じて、政務活動費を有効に活用させていただき、府中市の抱える問題に関して学ぶことができたと思います。

他市の先進・失敗事例を我が経験として取り入れ、この情報を執行部側とも共有しながら、府中市に必要な提言を行っていけるような取り組みを続けてまいります。

